

(参考1) 中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議

1 背景・目的

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、中部圏において大規模水素サプライチェーンの社会実装を地元自治体や経済団体等が一体となって実施するため、2022年2月21日に愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会、中部経済同友会及び中部圏水素利用協議会と「中部圏における大規模水素社会実装の実現に向けた包括連携協定」を締結し、同日付で「中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議」を設立した。

2022年10月17日には、水素に加えアンモニアについても、カーボンニュートラルに貢献するエネルギーとして推進するため、会議名称を「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議（以下「推進会議」という。）」に変更し、推進体制を強化した。

2023年3月には、推進会議において、水素とアンモニアの需要と供給を一体的かつ大規模に創出し、世界に先駆けて広域な社会実装に実現に向けた取り組みの方向性を示すものとして、「中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョン」を策定した。

2024年7月には「中部圏水素・アンモニアサプライチェーン計画」を決定し、中部圏全体で水素・アンモニアの需要と供給を一体的かつ大規模に創出する体制構築の必要性を確認したとともに、同年11月、中部圏で水素やアンモニアのサプライチェーン構築を目指す企業と、サプライチェーン構築に向けた相互協力に関する**基本合意書**を締結した。

今後も引き続き、地域が一体となって、水素とアンモニアのサプライチェーン構築や需要創出・利活用促進等の取組を進めていく。

2 会議構成（2024年12月25日現在）

会長	愛知県知事
副会長	中部圏水素利用協議会会長
民間 (2)	中部圏水素利用協議会、株式会社 JERA
経済団体 (3)	名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会、中部経済同友会
行政 (17)	中部経済産業局、中部地方整備局、中部地方環境事務所、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、碧南市、豊田市、東海市、知多市、日進市、田原市、みよし市、四日市市、名古屋港管理組合、四日市港管理組合

